



桂太郎塾

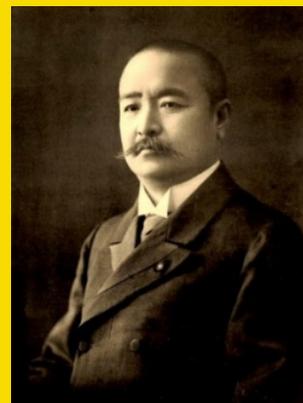
2021年度（第13期生）
募集案内

塾 是

本学創設者たる桂太郎の志を礎と学びの理想を近代国家建設の原動力たる『草莽の士』を育んだ幾多の私塾に求め、健全な世界観と国家観、透徹した歴史観と倫理観を磨き、豊かな『公共精神』と『開拓精神』をもつ次代の牽引役たる俊英を育成し、もって、国家の発展と繁栄ならびに、世界の平和と安寧に資する。

塾 訓

- 一、謙虚に『知』を求め、高潔なる品性を養え。
- 一、『真実』を探求し、『正義』を貫徹せよ。
- 一、国・故郷を愛し、家族・親を慈しめ。
- 一、進取の精神を忘れず、新たな挑戦に努めよ。
- 一、卓越した識見と国際的な視野を涵養せよ。
- 一、『志』を重んじ、『礼節』をわきまえよ。
- 一、公のため、私心を捨てて献身・奉仕する勇気をもて。
- 一、先人に感謝し、師弟・知友を慕い、『人』として生きよ。



桂 太郎

(1848年～1913年)

本学創立者・初代校長

山口県生まれ。台湾総督、陸軍大臣、内務大臣、文部大臣、大蔵大臣、侍従長、内大臣、外務大臣、内閣総理大臣等を歴任。1900年、台湾協会会頭として台湾協会学校（後の拓殖大学）を創立し、初代校長に就任。



指導教員のご紹介



拓殖大学総長・桂太郎塾塾長
森本 敏

【塾長メッセージ】

創設者の桂太郎公爵は、幕末期に長州藩で数々の英傑を世に輩出した学舎「松下村塾」を開いた吉田松陰を敬慕していました。その死去に際しては、遺言で自らの墓地を松陰の霊域に求めたほどです。そんな桂公爵の志を胸に、現代版「松下村塾」を究極の理想に掲げ、平成 21年 4月、「桂太郎塾」が開塾しました。本塾は、建学の精神に基づき、あらゆる分野においてオピニオンリーダーになりうる俊英を養成し、国家の発展と繁栄、世界の平和と安寧に資することを目的としたものです。

グローバル化が急速に進展する中で、次代の日本を担うリーダーには、「人種の色と地の境 我が立つ前に差別なし」と本学の校歌にも謳われている通り、自国を愛し、他国を敬う態度を養うことが求められています。偏狭で排他的なナショナリズムやイデオロギーを捨て、自己主張のみに陥ることなく、相手を受け入れようとする柔軟性、協調性、バランス感覚を持ったリーダーを育成することで、新しい時代の要請に応え、社会変革の原動力となることを目指していききたいと思います。



桂太郎塾塾頭 丹羽 文生

【所属】拓殖大学海外事情研究所 教授

【専門分野】政治学、日本外交史

【担当科目名】

歴史の中の拓殖大学、台湾政治論A、政治学、台湾の歴史と文化、日本外交史

【メッセージ】

吉田松陰は「志定まれば気盛んなり」との言葉を残しました。「志」とは、心に決めた目標に向かって突き進もうとする気持ちです。みなさんの志を応援し、それを実現すべく全力でサポートします。



桂太郎塾塾頭補佐 野村 明史

【所属】拓殖大学海外事情研究所 助教

【専門分野】中東政治、イスラーム宗派研究

【メッセージ】

人それぞれ人生にはターニングポイントがあります。その時、何を選ぶのか、それとも何もしないか。その後の人生は大きく変わってきます。桂太郎塾は人生を変えるターニングポイントの1つです。ぜひ一緒に頑張りましょう。

塾生 interview



商学部経営学科3年
塾生代表
ニ タ ジ ン ウ エ さん

私は桂太郎塾に入塾して以来、今まで考えたこともなかった政治や社会の様々な課題に触れ多くの知識を身につけることができました。特にプレゼンテーションは自分の物事に対する考え方が変わりました。プレゼンテーションでは発表者だけでなく、聴衆も事前学習をした上で、臨むことになります。全員が最低1回は発言することがルールなので、事前学習では時に「質問したこと」「質問すべきこと」が、なかなか見つからず、辛い思いもしました。しかし、どんなに苦しくても自分と一緒に仲間も頑張っているということを思いながら、勇気を出して前進し続けています。充実した学生生活を送るため、桂太郎塾にチャレンジしてみませんか？



第9期生
拓殖大学職員
藤村 里穂さん

1度きりの大学生生活、様々なことに挑戦したいと思い、まず初めに踏み出したのが桂太郎塾でした。桂太郎塾での学びは、学部の授業とはひと味違います。幅広い分野の講師陣による講義、塾生間で行われる集団討論や論文発表。大変ではある一方、学部の異なる塾生の仲間と切磋琢磨し合いながら、新たな知見を得ることができる桂太郎塾の環境は常に刺激的でした。さらに桂太郎塾を通して後の留学先となる台湾と出会い、私にとって桂太郎塾がターニングポイントとなったのは間違いありません。社会人としてスタートを切った今も、桂太郎塾での経験は役立っています。

志がある方だけでなく、新たに目標を見つきたいという方もぜひ挑戦してみてください。きっと有意義な学生生活が待っていますよ。



過去の活動について、
拓殖大学HPでも
ご確認ください。

＞ 拓殖大学 ＞ 学生生活 ＞
スーパー拓大生 養成講座
＞ 桂太郎塾



概 要

- 対 象：学部 1・2年生（入塾時、学部2・3 年生）※学部は問いません
- 定 員：15 名程度
- 開講場所：文京キャンパス国際教育会館（F 館）
- 開講期間：8か月間（4 月～12月頃まで 20 週開講）
- 選抜方法：小論文、口頭試問（今年度限り）
- 受講料：無料
- 内 容【開 講 日】土曜日 講義：10:30～12:00 ゼミナール：13:30～15:00

【講 義】当代一流の知識人・有識者による講義などを実施

（参考）これまでの主な講師

安藤桃子（映画監督）、稲田朋美（衆議院議員・元防衛大臣）、木村 文（元朝日新聞マニラ支局長）、小島誠二（元駐タイ・パキスタン大使）、栖来ひかり（エッセイスト）、田畑善朗（(株)アール・エフ・ラジオ日本代表取締役会長）、火箱芳文（第 32代陸上幕僚長）、増田寛也（野村総合研究所顧問・元総務大臣）

【ゼミナール】主に論文発表、集団討論、ディベートなどを実施

【課外研修】合宿研修、各種施設見学等を実施

国内合宿研修：山口県萩市（桂太郎旧宅・松下村塾など） 海外合宿研修：台湾（2019年度実績）

各種施設見学：国会議事堂・最高裁判所・外務省など

<修了生の主な進路>

東京都教員、山梨県教員、神奈川県教員、札幌市役所、秦野市役所、陸上自衛隊（幹部候補生）、日本年金機構、野村証券（株）、（株）東日本銀行、JR東日本（株）、富士急行（株）、（株）AIRDO、大東建託（株）、自由民主党本部、(株)日刊工業新聞社、拓殖大学大学院、中央大学大学院、上智大学大学院、国立政治大学大学院（台湾）、拓殖大学職員、その他（起業等）

お問い合わせ

研究支援課（文京キャンパス） 〒 112-8585 東京都文京区小日向 3-4-14 C館 2階

TEL：03-3947-7595 FAX：03-3947-7265 E-mail: katsurajuku@ofc.takushoku-u.ac.jp

丹羽 文生塾頭 E-mail: fniwa@ner.takushoku-u.ac.jp

野村 明史塾頭補佐 E-mail: anomura@ner.takushoku-u.ac.jp